

平成 23 年 度

事 業 報 告 書

平成 24 年 3 月

公益財団法人 徳川黎明会
総務部
徳川美術館
徳川林政史研究所

目次

I. 管理部門	P. 1
II. 公益目的事業	P. 10
III. 収益事業	P. 47

特記事項

平成23年3月24日（木）財団法人徳川黎明会は、内閣総理大臣より公益財団法人の認定を受け、4月1日新たに公益財団法人 徳川黎明会が発足した。

I. 管理部門（本部・総務部）

[1] 公益法人制度対応について

公益財団法人設立にともない、各官庁・諸機関に公益財団移行の事務手続きを行った。平成24年4月13日認定の公示が出された。

[2] 諸規程の整備について

定款、役員及び評議員等の報酬並びに費用等に関する規程の改訂および就業規則・給与規程等の見直しを実施した。

[3] コンピューターシステム化の促進

文化財管理システムの更新を各部と協力して行い、効率化を図った。

[4] 会計業務手順の見直し

平成22年度より新・新会計基準を適用したが、さらに細部の見直しを行い会計業務の適正化・効率化を図った。

[5] 決算監査

平成22年度決算監査が、平成23年6月9日に当会において実施され、その結果適法正確と認められた。

[6] 理事会・評議員会開催

1. 理事会

第1回理事会（書面による決議）

定款第39条の規定、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条の規定により、次の通り理事会の決議があったものとみなされた。

○議 案 相談役選任の件

竹内順一

竹田憲央

（任期、平成23年4月1日より25年3月31日）

○内容・説明

定款第33条に基づき、相談役を選任した。

相談役を6月開催の理事会の決議で選任するのでは相談役の活動上不具合が生じるため、書面による決議で就任を諮り、4月1日付の就任を追認した。

竹内順一・竹田憲央両氏とも承諾している。

○上記の提案をした理事 理事 徳川義崇

○理事会の決議があったものとみなされた日 平成23年4月20日

第2回理事会

○開 催 平成23年6月10日 午前10時30分 当会に於いて

○議 案

第1号議案 平成22年度事業報告並びに計算書類等の承認の件

第2号議案 平成22年度監査報告の件

第3号議案 平成23年度役員報酬額決定の件

第4号議案 評議員会招集の件

○結 果

第1号議案・第2号議案

審議の結果出席者一同異議なく、両議案とも原案の通り承認可決された。

第3号議案

公益財団法人発足に伴い、専務理事・常務理事の給与を23年4月より役員報酬に切り替える必要があり、各々平成22年度報酬を12ヵ月で割った金額を月額支給することとし、4月・5月の暫定報酬月額は専務理事が758,400円、常務理事は150,000円とした。6月より職員の昇給率を適用して専務理事は

768,900円、常務理事は据え置きで150,000円としたいとの提議があり、専務理事・常務理事の議決権を有しない2名を除いて審議の結果、出席者一同異議なく、承認可決された。

第4号議案

公益財団移行後においては、評議員会は理事会の決議をもって招集されることになっているため、本日の理事会をもって6月28日午後1時30分より評議員会を開催したいとの提議があり、出席者一同異議なく、承認可決された。

第3回理事会（書面による決議）

定款第39条の規定、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条の規定により、次の通り理事会の決議があったものとみなされた。

○議 案

第1号議案 資産運用規程制定の件

第2号議案 寄附金等取扱規程制定の件

（平成23年10月1日制定）

○内容・説明

公益財団移行により、資産運用については、運用目的や運用責任者、基本方針等を定め、責任をもって運用することを明文化することとし、資産運用規程の制定を諮った。

寄附金等取扱規程については、寄附金の定義を定め、一般寄附金、特定寄附金、特別寄附金とした。

一般寄附金は、寄附金総額の50%以上を定款第4条の公益目的事業に使用し、残りは法人会計に充てることができるようにすることを書面によって決議をした。

○上記の提案をした理事

理事 徳川義崇

○理事会の決議があったものとみなされた日

平成23年9月30日

第4回理事会

○開 催 平成24年3月23日 午前10時30分 当会に於いて

○議 案

第1号議案 平成24年度事業計画書の件

第2号議案 平成24年度予算書及び設備投資の見込みの件

第3号議案 定款及び規程改訂の件

第4号議案 退職慰労金支給の件

第5号議案 評議員会招集の件

○結 果

第1号・第2号議案

審議の結果出席者一同異議なく、両議案とも原案の通り承認可決された。

第3号議案

「定款」第36条で理事会開催月を5月・3月と明示しているが、これを「年2回以上」という表記に変更すること、及び「役員及び評議員等の報酬並びに費用等に関する規程」において、非常勤の出席役員・評議員等に支払う報酬を税込み10,000円の形に改定し、当該月末でまとめて支払うように条文を改訂することの提議があり、出席者一同異議なく、原案の通り承認可決された。

第4号議案

本年4月10日退職予定の職員は、60歳定年時在職年数が2年未満であったため規程により退職金支給対象外であったが、内規で1ヵ月分の基本給をベースに支給することを考慮することになっているのを判断基準とし、上乘せについては会長の裁量として1,000,000円を上限として予算に計上したいとの提議があり、出席者一同異議なく、原案の通り承認可決された。

第5号議案

第3号議案は評議員会に諮らなければならないため、即日評議員会の開催通知を発送し、書面による審議により4月1日付施行としたいとの提議があり、出席者一同異議なく、承認可決された。

2. 評 議 員 会

第1回評議員会

○開 催 平成23年6月28日 午後1時30分 当会に於いて

○議 案

第1号議案 評議員会長選定の件

第2号議案 議事録署名人選定の件

第3号議案 平成22年度事業報告並びに計算書類等の承認の件

○結 果

第1号議案

定款の定めにより評議員会において、評議員会長を選定することになっており、田中秀隆氏に評議員会長就任の提議がなされた。

就任の可否について諮ったところ出席者一同異議なく、承認可決された。

田中秀隆氏からは、お受けするとの発言があった。

第2号議案

議事録署名人の選定については、室瀬和美氏に就任の提議があり、就任の可否について諮ったところ出席者一同異議なく、承認可決された。

室瀬和美氏からは、お受けするとの発言があった。

第3号議案

審議の結果出席者一同異議なく、原案の通り承認可決された。

第2回評議員会（書面による決議）

定款第22条の規定、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項の規定に基づき、次の通り評議員会の決議があったものとみなされた。

○議 案 定款及び規定改訂の件

- ・定 款
- ・役員及び評議員等の報酬並びに費用等に関する規程

（平成24年4月1日改訂）

○内容・説明

「定款」第36条で理事会開催月を5月・3月と明示しているが、これを「年2回以上」という表記に変更すること、及び「役員及び評議員等の報酬並びに費用等に関する規程」において、非常勤の出席役員・評議員等に支払う報酬を税込み10,000円の形に改定し、当該月末でまとめて支払うように条文を改訂することについて書面による決議をした。

○上記の提案をした理事

理事 徳川義崇

○理事会の決議があったものとみなされた日

平成24年3月31日

[7] 文部科学省への届出・報告事項

1. 平成23年度科学研究費補助金（特定奨励費）交付請求書を提出した。平成23年4月
2. 平成22年度事業報告書ならびに決算報告書を提出した。平成23年6月

[8] 役員及び評議員、職員 (平成24年3月31日現在)

1. 役員

理事 計 7名

役名	氏名	職業
会長	徳川 義崇	八雲産業(株)社長・徳川美術館 館長
専務理事	近松真知子	(公財) 徳川黎明会 総務部長
常務理事	竹内 誠	東京学芸大学名誉教授・徳川林政史研究所 所長
理事	池田 弘一	アサヒグループホールディングス(株)相談役
〃	徳川 斉正	(公財) 徳川ミュージアム理事長
〃	中田 易直	中央大学 名誉教授
〃	前田 利祐	(財) 前田育徳会 理事長

監事 計 2名

役名	氏名	職業
監事	降旗 京二	降旗公認会計士事務所長
〃	松平 頼武	(学) 本郷学園 理事長

評議員 計 7名

役名	氏名	職業
評議員	太田 宏次	(財) 東洋医学研究財団 理事長
〃	小林 喬	富国生命保険(相) 相談役
〃	田中 秀隆	(財) 三徳庵 専務理事
〃	濱本 英輔	(株) ロッテ 顧問
〃	原 俊夫	(公財) アルカンシエール美術財団 理事長
〃	松方 冬子	東京大学史料編纂所 准教授
〃	室瀬 和美	(株) 目白漆芸文化財研究所 代表

役員総計 16名

他に相談役2名(竹内順一、竹田憲央)となっている。

2. 職員

総務部 計 3名 (他に非常勤学芸員 2名)

職 名	職 階	氏 名
兼 部 長	専務理事	近松真知子
課 長・秘書室長 (庶務担当)	主事補	神田 映子
課 長 (会計・経理担当)	〃	田中 博之

徳川美術館 計22名 (他に非常勤研究員 7名 (うち1名 評議員兼任))

職 名	職 階	氏 名	
兼 館 長	会 長	徳川 義崇	
副 館 長	参事補	四辻 秀紀	
名誉副館長 上席参与 (渉外担当)	嘱 託	山本 泰一	
学 芸 部	兼 部 長	参事補	四辻 秀紀
	主任学芸員	主事補	原 史彦
	係 長	書 記	吉川 美穂
		〃	龍澤 彩
		〃	下畑いつこ
		嘱 託	中島 雄彦
企 画 情 報 部	部 長	主 事	小池 富雄
	課 長 (教育普及担当)	主事補	加藤 啓子
		書 記	並木 昌史
		〃	志賀 太郎
		〃	坪井 美幸
業 務 部	部 長	嘱 託	寺島 一夫
	部長代理	主 事	林 繁俊
	課 長 (管理担当)	主事補	野村 弘和
	課 長 (庶務担当)	〃	長谷 峰生
	係 長	書 記	長沼 英樹
		〃	大田 智恵
		〃	小塚 愛弓
		補 手	間瀬田 憲次
	〃	間瀬田 加代	

徳川林政史研究所 計 5名 (他に特任研究員14名、非常勤研究員16名、非常勤研究生10名)

職 名	職 階	氏 名
兼 所 長	常務理事	竹内 誠
副 所 長	嘱 託	深井 雅海
主任研究員	主事補	太田 尚宏
研 究 員	書 記	白根 孝胤
係 長	〃	鶴岡 香織

職員総計 30名(うち3名役員兼任)

※他に 非常勤学芸員 2名、特任研究員 14名、 非常勤研究員 23名(うち1名 評議員兼任)、 非常勤研究生 10名、また、部外の業務・研究協力者を参与に委嘱しており、この人員は美術館 2名・林政史研究所 6名となっている。

[9] 東日本大震災への対応

計画停電の対象地域ではなかったが、総務部・林政史研究所においては消灯、エアコン運転の見合わせや温度設定の変更など、積極的に節電に協力した。美術館においても節電に努めるとともに、被災地の博物館施設からの応援要請があれば、学芸員を派遣できる用意があることを文化庁経由で表明した。また、美術館に募金箱を設置し、集まった募金を中日新聞社会事業団経由で被災地へ寄附した。

Ⅱ. 公益目的事業

〔公 1〕

美術館の運営事業(徳川美術館)

〔1〕 調査・研究

1. 研究

課 題 (開始年)	担 当
(1) 館蔵品悉皆調査 (昭和63年)	学 芸 部 共 同
(2) 尾張徳川家関係寺社蔵品調査 (昭和58年)	
(3) 尾張徳川家御道具帳のデータベース化 (平成7年)	
(4) 尾張徳川家に関連する建中寺所蔵什宝の調査(平成20年)	
(5) 徳川美術館蔵仏画の調査研究 (昭和49年)	名 誉 副 館 長 山 本 泰 一
(6) 請来仏画の研究 (昭和56年)	
(7) 『君台観左右帳記』の研究 (昭和58年)	学 芸 部 ・ 専 門 参 与 佐 藤 豊 三
(8) 茶の湯の名物道具について(名物論) － 『玩貨名物記』を中心にして－ (昭和63年)	
(9) 尾張徳川家江戸屋敷における文化活動 (平成3年)	
(10) 徳川義直の文化活動 (平成11年)	
(11) 古代・中世の料紙装飾の系譜 (昭和60年)	副 館 長 ・ 学 芸 部 長 四 辻 秀 紀
(12) 歌絵・物語絵の研究 (平成3年)	

課 題 (開始年)	担 当
(13) 近世名古屋城下における文芸活動 －尾張藩士を中心に－ (昭和57年)	企画情報部長・学芸員 小池富雄
(14) 幸阿弥派蒔絵の研究 (平成元年)	
(15) 唐物漆器の研究 (平成10年)	
(16) 徳川将軍家と尾張家の研究 (平成19年)	主任学芸員 原 史彦
(17) 篠・長久手合戦の研究 (平成20年)	
(18) 近世絵画の研究 (平成6年)	学芸部係長・学芸員 吉川美穂
(19) 尾張を中心とする画家の活動について (平成11年)	
(20) 松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査研究 (平成21年)	
(21) 高精細画像を活用した仮想展示サービスの開発(平成22年)	
(22) 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について (平成8年)	学芸員 並木昌史
(23) 有職装束の研究 (平成8年)	
(24) 松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査研究 (平成21年)	
(25) 中近世の絵画および工芸意匠の研究 (平成13年)	学芸員 龍澤 彩
(26) 尾張徳川家伝来中国絵画の研究 (平成23年)	学芸員 志賀太郎
(27) 禅宗美術の研究 (平成23年)	

2. 独立行政法人日本学術振興会平成23年度科学研究費助成事業

学術研究助成基金助成金(若手研究B)

「中近世移行期における絵巻・絵入り本製作と大名家を中心とする受容」

代表 龍澤 彩(平成23～25年)

〔2〕文化財保存

1. 修理

基本美術品

重要文化財	浅葱地葵紋付花重文辻ヶ花染小袖	一領
重要文化財	浅葱地雪持笹文辻ヶ花染小袖	一領

(「国宝重要文化財等保存整備費補助金」(国庫補助事業)による修理)

平成20年度から平成23年度にわたり、文化財関係国庫補助事業として、重要文化財に指定されている徳川家康所用の辻ヶ花染小袖五領の修理を継続して行っている。平成23年度はこのうちの上記二領の修理を実施した。

普通美術品

中殿御会図	伝二条為氏筆(継続)	
菊折枝蒔絵乗物	担棒	一本
貴重図書	士林泝洄 三十五卷・六十八卷・百卷	三冊

(「第4回徳川美術館拡充整備基金」による修理)

2. 購入

普通美術品

源氏物語貼込屏風	土佐光孚筆	六曲一双
今城切	古今和歌集 奥書断簡	一枚
詩仙堂志	三橋成烈編・寛政九年序刊	一冊
徳川忠長書状	尾張大納言(徳川義直)宛 (寛永四年)八月十八日付	一通
徳川頼宣書状	亜相(徳川義直)宛 (寛永七年頃)十一月十七日付	一通
徳川光貞書状	尾張中納言(徳川光友)宛 (寛文四年)十月十八日付	一通
徳川綱誠書状	徳川光貞宛 三月十五日付	一通
子の日図	板谷広隆筆	一幅
徳川家康朱印状	愛染堂宛 慶長五年五月廿五日付	一通
新六歌仙画帖		一帖
長篠合戦図		一枚

3. 寄 贈

普通美術品

交趾草花文五耳壺	一口	林恭助氏
交趾花鳥文皿	八枚	〃
紅綾地松竹に宝尽くし模様陣羽織	一領	大丸松坂屋
白綾地松竹に宝尽くし模様陣羽織	一領	〃
酒呑童子屏風	六曲一双	美濃部智子氏
酒呑童子屏風	六曲一双	〃
堀川夜討・大森彦七色紙貼込屏風	六曲一双	〃
平家物語貼込屏風	六曲一隻	〃
平家物語屏風	六曲一隻	〃
百人組同心渡辺半蔵御領改書	一幅	竹内昭子氏

源氏物語絵巻 現状模写

関屋	詞書	第一・二紙	一面	秋山洋平氏
関屋	絵		一面	上野 高氏
横笛	詞書	第一・二紙	一面	宮川佑介氏
横笛	絵		一面	〃
竹河一	詞書	第三紙	一面	手塚 雅氏
竹河一	絵		一面	〃
竹河二	詞書	第五・六紙	一面	染谷泰介氏
竹河二	詞書	第七・八紙	一面	湯川佳昭氏
橋姫	詞書	第三紙	一面	林奈緒子氏
早蕨	詞書	第一・二紙	一面	杉山愉岳氏
早蕨	絵		一面	〃
宿木二	絵		一面	山本浩之氏
東屋一	詞書	第一・二紙	一面	繭山桃子氏
東屋一	絵		一面	〃
東屋二	詞書	第三紙	一面	岡田昌平氏
貞祖院本堂古材香合			一合	杉山貞子氏

4. 収蔵品の撮影

館 内

- (1) 「やきものの色とかたち」展関係
- (2) 「徳川の姫君」展関係
- (3) 「宮廷の雅」展関係
- (4) 「豪商のたしなみー岡谷コレクションー」展関係
- (5) 「徳川将軍の御成」展関係
- (6) 新規購入・寄贈・寄託品・借用品・カレンダー作品撮影
- (7) その他

館 外

- (1) DNP依頼 (手鑑「蓬左」「集古帖」「玉海」、武田信玄書状ほか)
- (2) 松花堂美術館依頼 (松花堂昭乗書状ほか)
- (3) 根津美術館依頼 (釈迦如来像厨子)
- (4) NHK依頼 (西行物語模本)
- (5) 名古屋市博物館依頼 (山脇流狂言図)
- (6) 大田区立郷土博物館依頼 (桑木地葵紋蒔絵湯婆)
- (7) 出光美術館依頼 (白磁四方鉢ほか)

[3] 教育・普及

1. 定期研究発表会

	(内 容)	(年月日)	(講 師)
第59回	徳川斉朝と茶の湯	23. 7. 16	佐藤豊三
第60回	建中寺所蔵の二挺の女乗物 由緒と所用者の再検討	24. 2. 18	小池富雄

2. 記念講演会

(演 目)	(年月日)	(講 師)
江戸時代に学ぶ環境問題	23. 4. 9	徳川宗家十八代当主 徳川恒孝氏
二つの修学院図屏風	9. 23	学習院大学教授 小林 忠氏
名物刀剣 ー日本刀が宝物になるまでー	24. 1. 7	佐野美術館館長 渡邊妙子氏

3. 土曜講座「大名の生活と文化」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
菊と葵 徳川家康のアジェンダ	23. 4. 16	山本泰一
尾張徳川家と徳川将軍家	5. 14	原 史彦
描かれた“やきもの”記された“やきもの”	6. 18	龍澤 彩
尾張徳川家と建中寺	7. 9	小池富雄
尾張徳川家の姫君	9. 10	吉川美穂
有栖川宮家の歴史と文化	10. 8	並木昌史
平安時代の宮廷絵師に迫る-国宝源氏物語絵巻の模写-	11. 19	四辻秀紀
名物刀剣の歴史	24. 1. 14	佐藤豊三
利休から織部へ	2. 25	大日本茶道学会副会長 田中仙堂氏
蓬左文庫と中国朝鮮の文化	3. 10	名古屋市蓬左文庫長 桐原千文氏

4. 夏期講座「近世宮廷の美と伝統」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
総論 江戸時代の宮廷文化	23. 8. 23	並木昌史
高松宮と学習院	”	学習院大学史料館学芸員 長佐古美奈子氏
近世・近代の宮廷装束	8. 24	京都国立博物館主任研究員 山川暁氏
宮廷の書道と有栖川御流	”	国文学研究資料館 機関研究員 中村健太郎氏
見学会(京都御所・京都国立博物館・泉涌寺)	8. 25	

5. 能楽講座「尾張徳川家の能『隅田川』」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
シテ方が語る母の情愛	23. 4. 23	シテ方宝生流 辰巳満次郎氏
母物狂いの中世	5. 7	歌人 馬場あき子氏
『隅田川』子方・梅若丸も苦勞します	6. 4	シテ方観世流 寺澤幸祐氏
ワキ方・渡し守から見た『隅田川』	7. 2	ワキ方宝生流 宝生欣哉氏

6. 徳川林政史研究所古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
江戸城請取の顛末	23. 6. 18	深井雅海
旧幕臣の駿河移住	6. 25	藤田英昭
徳川慶勝が見た宮中社会(一)	7. 2	白根孝胤
” (二)	7. 9	”
森林をめぐる明治維新-御林から官林へ-	7. 16	太田尚宏
勤王誘引書類を読む	7. 23	”

7. 国宝「源氏物語絵巻」現状摸写製作指導(東京藝術大学製作)

8. 古美術相談会

5回開催7件。この他に写真の郵送、来館などにより計16件の古美術相談を行った。

9. 体験講座 「日本の伝統文化にふれる」

聞香 団体 30件 計650名、個人 計217名

貝あわせ 団体のみ13件 計376名

10. 名曲講座

(内 容)	(年月日)	(入場者)
(1) 梶川真歩・鈴木真紀子 デュオ・コンサート (中日新聞社・日本経済新聞社共催)	23. 7. 3	100名
(2) 藤本真美・田中一美 2台のピアノによるデュオ・リサイタル (中日新聞社共催)	11. 26	150名

11. 特別企画

(1) 端午の節供 特別企画 親と子の甲冑教室2011 (23. 5. 5)
7組 のべ来場者 480名

(2) 夜間開館イベント あいち戦国姫隊演舞 (23. 8. 12)

(3) 新春特別企画「徳川美術館へ初詣 辰年のドラゴンズ」 (24. 1. 3)
中日ドラゴンズ高木守道監督見学

(4) 「尾張徳川家の雛まつり」記念企画
①オリジナル 香袋・文香をつくる (24. 2. 26)
②目で見ると雛まつり 十二単着装公開(2回) 来場者約900名 (24. 3. 3)

12. 夏期夜間延長開館 (23. 8. 12～14)

隣接する徳川園が夏期に開館時間を延長するのに合わせ、当館でも上記3日間に限り、開館時間を2時間延長して午後7時まで開館した。

1 3. 賛助会・友の会見学会 (23. 11. 18)

第46回 神仏います近江 大津市歴史博物館・滋賀県立近代美術館・MIHO MUSEUM

1 4. 学芸員実習 12名 (23. 8. 2～ 8. 10)

1 5. 特別観覧

23年度は以下の通り計28件の特別観覧申請に対応した。

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 23年 4月 | (1) 名古屋市博物館 竹内弘明氏 ほか1名 |
| | (2) 東京芸術大学 福島雅子氏 ほか1名 |
| 5月 | (3) 平成23年名香鑑賞会 |
| | (4) 高樹経沢氏 ほか2名 |
| 6月 | (5) 海洋博覧会記念公園管理財団 亀井良昭氏 ほか3名 |
| | (6) 多摩美術大学 島尾 新氏 |
| | (7) 京都国立博物館 尾野善裕氏 |
| 7月 | (8) 学習院大学 小林 忠氏 ほか2名 |
| 8月 | (9) 名古屋城総合事務所 朝日美佐子氏 |
| | (10) ビンチク・モニカ氏 |
| | (11) 松隠軒(香道志野流) |
| | (12) NHKへうげもの撮影 |
| | (13) 大田区立郷土博物館 清水久男氏 |
| 9月 | (14) 鶴見大学 平藤 幸氏 |
| | (15) 千葉大学 池田 忍氏 ほか2名 |
| | (16) 学習院大学史料館 皇太子殿下 |
| | (17) 桧岩寺址博物館 徐 志敏氏 ほか2名 |
| 10月 | (18) ロスアンジェルス・カウンティ美術館 ステファン・リトル氏 |
| | (19) 名古屋市教育委員会 深谷 淳氏 |
| | (20) 海洋博覧会記念公園管理財団 上江洲安亨氏 ほか4名 |
| 11月 | (21) メトロポリタン美術館 ジョイス・デニー氏 |
| | (22) かわうそ商会 水野宏重氏 ほか4名 |
| 12月 | (23) 高円宮妃久子殿下 |
| 24年 1月 | (24) 出光美術館 金沢 陽氏 |
| | (25) 海洋博覧会記念公園管理財団 上江洲安亨氏 ほか4名 |
| 2月 | (26) 東京国立博物館 田沢裕賀氏 ほか7名 |
| 3月 | (27) 日本将棋連盟 |
| | (28) ボストン美術館 アン・ニシムラ・モース氏 ほか16名 |

16. 出講の承認

(1) 大学等の非常勤講師としての出講

四辻秀紀	①南山大学	前期
	②愛知淑徳大学	後期
	③中京大学	集中
小池富雄	①名古屋外国語大学	前期
	②南山大学	後期
吉川美穂	①同朋大学	前期
	②名古屋芸術大学	後期
	③椋山女学園大学	集中
原 史彦	①名古屋芸術大学	通年
龍澤 彩	①金城学院大学	前期・後期
	②愛知県立芸術大学	前期（実習指導）
佐藤豊三	①名古屋芸術大学	通年

(2) その他の出講

四辻秀紀	①栄中日文化センター	通 年
	②宮内庁	7月7日、11月17日
	③京都国立博物館	8月31日、24年 1月19日

小池富雄	① 中華民国国立故宮博物院	9月28日～10月2日
	② 名古屋市東生涯学習センター	11月25日
	③ 九州国立博物館	24年 1月30・31日
	④ 幸田町 本光寺文化財調査指導委員会	3月8日
	⑤ 愛知県史編さん委員会 工芸班	3月13日
吉川美穂	① 刈谷市総合文化センター	4月～9月
	② 扶桑町生涯学習センター	6月 2・9・16・23・30日
	③ 小牧北里市民センター	10月14日
	④ 東海市立文化センター	11月5・19日 12月3日
原 史彦	① 栄中日文化センター	4月～9月
	② 名古屋市東生涯学習センター	6月7日
	③ 小学館集英社プロダクション	9月4日
	④ 東海市立文化センター	11月5・19日、12月3日
並木昌史	① 皇學館大学	6月25日
	② 京都国立博物館	8月31日
	③ 装道礼法きもの学院	10月 5日
龍澤 彩	① 栄中日文化センター	4月～ 9月

17. 職員の委嘱

四辻秀紀

- ①財団法人芭蕉翁顕彰会参与 21. 3. 23～調査終了時
- ②愛知県 県史編さん委員会特別調査委員 (古代中世絵画・書道史) 21. 4. 24～調査終了時
- ③京都国立博物館陳列品等に関する買取協議会委員 21. 6. 1～23. 5. 31
- ④愛知県 県史編さん委員会特別調査委員 (古代中世絵画・古筆料紙装飾史) 23. 4. 1～調査終了時

小池富雄

- ①愛知県 県史編さん委員会特別調査委員 (漆工史・工芸史) 19. 2. 1～調査終了時
- ②岡崎市美術博物館 資料収集委員会 20. 4. 1～23. 3. 31
- ③幸田町教育委員会 本光寺文化財調査指導委員会 21. 12. 17～24. 3. 31
- ④名古屋東生涯学習センター協議会 協議会委員 22. 7. 20～24. 7. 19
- ⑤文化庁 文化財審議会文化財部会 24. 3. 21～24. 3. 23

吉川美穂

- ①愛知県 県史編さん委員会特別調査委員 (近世絵画史) 19. 4. 1～調査終了時

原 史彦

- ①東京大学史料編纂所特定共同研究員 23. 4. 1～24. 3. 31

山本泰一

- ①学校法人 名古屋電気学園 100周年資料収集 23. 4. 19～収集終了時

加藤啓子

- ①文化庁平成23年度博物館の管理運営に関する研究企画運営会議委員 23. 5. 30～24. 3. 31

18. 館長講演活動 館長 徳川 義崇

(主 催)

(演 題)

- (1) 名古屋フォーラム 「文化を守るー徳川美術館に遺されたもの」 5. 18
- (2) 日本J C シニアクラブ 「文化を守る」 9. 30
- (3) 日本電設工業協会 「文化を守る」 10. 13
- (4) 愛知県法人会女性部会連絡協議会 「文化を守る」 11. 24
- (5) NTT東海 「お殿様はスーパー I C Tエンジニア (対談)」 11. 28
- (6) 犬山市民総合大学 「文化を守る」 24. 1. 14

19. 雑誌・報道広報資料作成

(1) ポスター・ちらし作成 各企画展示ごとに作成

(2) ニュースレター作成

①企画展プレスレビュー

徳川将軍と尾張の殿さま、やきものの色とかたち、徳川の姫君、宮廷の雅、
国宝源氏物語絵巻に挑む、名物刀剣、尾張徳川家の雛まつり

②記念講演会、土曜講座、能楽講座、古文書入門講座、夏期講座、定期研究発表会 掲載依頼

③名曲講座、定期研究発表会、記念講演会、8月夜間開館、新春プレゼント掲載依頼

④親と子の甲冑教室、十二単着付教室、夏休み子ども特別企画参加者募集、香袋づくり教室、ひな御膳 掲載依頼

⑤土曜子ども教室、親と子の甲冑教室、夏休み子ども特別企画、
新指定重要文化財「西塔院勧学講法則」、ひな御膳、十二単着実演、

⑥特別公開「泪の茶杓」

20. ホームページの随時更新

21. 生徒・学生への教育普及活動・館外出張講座

(1) 土曜子ども教室

23.4.2～24.3.31 46日実施 子ども 853名・大人446名 合計1,299名参加

毎週土曜日、小中学生を対象に「土曜子ども教室」を実施。一日三回各約60分。美術の紹介、「今月のポイント」（月替わりで収蔵品を紹介）、「体験タイム」（月替わりで大名文化を体験）、常設展展示室での展示解説。

(2) 夏休み子ども特別企画・地域密着型「武家文化」普及プログラム

愛知県内小中学校ほかにポスター作成・配布		1,400枚
「徳川の姫君」 ギャラリー・クイズ	8.2～8.31	1,241名
小中学生の歴史教室「徳川の姫君」	〃	920名
姫君体験「姫君の遊び 貝あわせ」	〃	496名
和歌教室	8.20	20名
姫君の装い「結髪実演」	8.6	150名

(3) 体験学習受け入れ・出張教室

<受け入れ>

4/30名電中学校2年106名、5/18・19実践女子学園中等部280名、6/7日吉小学校6年43名、7/14富士市立富士中央小学校74名、8/2金城学院高等部・中等部89名、8/27中部大学付属春日丘中学校18名、10/6小牧市立桃ヶ丘小学校6年90名、10/27葵小学校6年30名、10/28大山田東小学校6年90名、2/22瀬戸市立道泉小学校6年49名ほかの団体を受け入れた。貝あわせ、刀解体組立・子ども出世すごろくなどの体験後、館内を見学した。

そのほか分散学習や質問に対応。103団体4,634名が来館した。

<出張教室> 9/7瀬戸市祖母懐小学校

2.2. 中学・高校・大学 職場体験の受け入れ

11/8横須賀中学校2年2名、11/15-17豊田市梅坪中学校2年3名、1/18一柳中学校7名、1/20川名中学校2年4名、1/26-27志段味中学校4名、1/26伊勢山中中学校6名、1/31藤森中学校12名、2/8あずま中学校6名の職場体験を受け入れた。

8/23-28 名古屋大学3年生1名をインターシップとして受け入れた。

2.3. 小・中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー 23. 8. 3

中学校の部6名、小学校の部10名の参加があった。

2.4. 他施設との協力事業

(1) 東邦コミュニティカレッジ 共催講座

「畑儀文さんの音楽教室」 5.22、7.24

(2) 名古屋城本丸御殿棟上式イベント 7.12

名古屋城から割り当てられたブースで、来場者対象に兜や模造刀着装体験などを実施し、徳川美術館および「徳川の姫君」展のPRを行った。

(3) 中部国際空港・武将館イベント 7/23・24、11/3・4・5・6、2/11・12・25・26

中部国際空港内の武将館で、来場者対象に貝あわせ、子ども出世すごろく、組紐などを実施し、徳川美術館および「徳川の姫君」「国宝 源氏物語絵巻に挑む」「雛まつり」展のPRを行った。

(4) 名古屋旅フェア 3.25

会場は名古屋港、割り当てられたブースで、来場者対象に兜や模造刀着装体験を実施し、徳川美術館および「徳川の姫君」展のPRを行った。

25. 学会活動

(1) 私立美術館会議事務局 (平成3年より)

第21回 私立美術館会議 23.10.27開催 於 大和文華館

(2) 第18回 大名道具収蔵館研究会 23.10.4 於徳川美術館

研究発表 「近代井伊家の道具帳」彦根城博物館学芸員 渡辺恒一氏

「葵紋について -高松松平家を事例として-

香川県立ミュージアム 専門学芸員 御厨義道氏

「徳川慶勝と幕末の朝廷」 徳川美術館 学芸員 並木昌史

26. 平成23年度文化庁 文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)

「徳川美術館 地域密着型「武家文化」普及プログラムー徳川の姫君 大研究ー」として「夏休み大子ども特別企画」、「小中学校の先生のためのプログラムセミナー」、「姫君の装いー結髪実演ー」について、経費支援の申請が認可された。

27. 第90回名古屋市文化史教室共催負担金

「夏休み子ども特別企画」(8月1日～31日)について、名古屋市への共催申請が認可され、負担金が交付された。

〔4〕展覧会

1. 常設展示(第1～6室)

(1)大名の生活と文化	約1ヶ月毎に展示替 常設展示入場者数(企画展示期間を除く)	3,335人
(2)特別公開 国宝源氏物語絵巻	柏木三・宿木一・横笛・東屋二 11.12～12.11	第7室
千利休 泪の茶杓	24. 2.25～ 3. 4	第2室

2. 企画展示 (第7～9室)

	(会 期)	(入場者数)
(1)春季特別展 徳川将軍と尾張の殿さま (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	23. 4. 9～ 5.22	22,895人
(2)企画展示 徳川美術館の名陶で楽しむ やきものの色とかたち (日本経済新聞社共催)	5.28～ 7.24	26,900人
(3)企画展示 徳川の姫君 (朝日新聞社共催)	7.30～ 9.19	29,505人
(4)秋季特別展 宮廷の雅—有栖川宮家から高松宮家へ— (名古屋市蓬左文庫・中部日本放送・中日新聞社共催)	9.23～ 11. 6	32,118人
(5)特別企画 国宝 源氏物語絵巻に挑む—東京藝術大学現状模写— (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	11.12～ 12.11	24,021人
(6)特別展 名物刀剣 —宝物の日本刀— (日本経済新聞社共催)	24. 1. 4～ 2. 5	16,816人
(7)特別展 尾張徳川家の雛まつり (中日新聞社共催)	2.11～ 4. 8	48,625人
	企画展示入場者数合計	200,880人
	平成23年度総入場者数	204,215人

(8) 特別観覧

	(会 期)	(入場者)
①名香鑑賞会	23 5.22 (1日間)	251人
②徳川茶会	23.10.9～11.3(9日間)	2,805人

(9) 蓬左文庫展示室

展示室 1・2	春季特別展 徳川将軍と尾張の殿さま (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	23. 4. 9～ 5. 22
展示室 1 2	建中寺と尾張徳川家ゆかりの寺院－法然上人800年大遠忌－ 名古屋の天王まつり	5. 28～ 7. 24
展示室 1 2	没後400年加藤清正の時代 城造りあれこれ	7. 27～ 9. 19
展示室 1・2	秋季特別展 宮廷の雅 ー有栖川宮家から高松宮家へー (名古屋市蓬左文庫・中部日本放送・中日新聞社共催)	9. 23～11. 6
展示室 1・2	源氏物語の世界	11. 12～12. 11
展示室 1 2	大名の服飾 よろいを写す	24. 1. 4～ 2. 12
展示室 1 2	琉球漆器の美 アジアの風 ー中国・朝鮮・琉球ー	2. 15～ 4. 8

3. 他館主催展覧会への所蔵品出陳

	出陳先	展覧会名称	期間	出陳品
1	浜松市美術館	「宮廷の雅 有栖川宮家から高松宮家へ」	H23. 5. 31～ 7. 10	和歌懐紙「菖蒲」 計1点
2	サントリー美術館	不滅のシンボル 鳳凰と獅子	H23. 6. 8～ 7. 24	大札之図 三卷 等 計9点
3	石川県立歴史博物館	「宮廷の雅 -有栖川宮家から高松宮家へ-」	H23. 7. 16～ 8. 28	有栖川宮熾仁親王 手造茶碗 等 計10点
4	東京藝術大学 大学美術館	「国宝 源氏物語絵巻に挑む -東京藝術大学 現状模写」	H23. 9. 9～ 9. 25	源氏物語絵巻 柏木（一）詞1・2 等 計33点
5	名古屋城管理事務所	王と王妃の物語 帝鑑図大集合	H23. 9. 16～10. 30	歴代聖賢図巻 等 計 4点
6	姫路文学館	〈江〉の娘 千姫	H23. 10. 7～11. 27	本田平八郎姿絵屏風 (模本) 計 1点
7	根津美術館	春日の風景 麗しき聖地のイメージ	H23. 10. 8～11. 6	火焰宝珠嵌装 蓮弁蒔絵舍利厨子 等 計 2点
8	トヨタ博物館	大正100年記念企画展 大正 自動車ものがたり	H23. 10. 8～ H24. 1. 8	米騒動絵巻 三卷 計 3点
9	徳島市立 徳島城博物館	阿波の茶の湯 徳島市立徳島城博物館	H22. 10. 15～11. 20	有明の月図 等 計 3点
10	八幡市立 松花堂美術館	国民文化祭「松花堂昭乗 展—昭乗と徳川家のひとびと」	H23. 10. 19～12. 4	松花堂昭乗書状 志水忠政宛 等 計 8点
11	名古屋市博物館	狂言でござる 狂言共同 社と尾張の狂言	H23. 10. 22～12. 4	狂言面 狐 金漆銘「狐」 出目若狭大 掾入道 等 計 4点
12	彦根城博物館	武門の絆 -徳川将軍家と井伊家-	H23. 10. 28～11. 27	白天目 等 計10点
13	松屋 銀座本店	上田宗箇 武将茶人の世界展(東京)	H23. 12. 30～ H24. 1. 16	唐草文染付茶碗 銘 荒木 等 計 2点
14	公益財団法人 ひろしま美術館	上田宗箇 武将茶人の世界展 (広島)	H24. 2. 11～3. 25	唐草文染付茶碗 銘 荒木 等 計 2点
15	神戸市立博物館	平 清盛 (神戸)	H24. 2. 25～ 4. 8	天皇撰関御影 等 計 2点

4. 他館主催展覧会への出陳・展示指導

松坂屋コレクション	23. 3. 5～. 4. 10	松坂屋美術館	吉川・並木
宮廷の雅-有栖川宮家から高松宮家へ-	5. 31～7. 10	浜松市美術館	四辻・並木
〃	7. 16～8. 28	石川県立歴史博物館	〃
名物刀剣 -宝物の日本刀-	8. 27～9. 25	根津美術館	佐藤
〃	9. 30～10. 16	富山県水墨美術館	〃
〃	10. 22～12. 18	佐野美術館	佐藤・並木

〔5〕編 集

1. 特別展図録(部内)

(1) 秋季特別展「宮廷の雅 -有栖川宮家から高松宮家へ-」

- ・有栖川宮家の江戸時代-初代好仁親王から八代熈仁親王まで- 並木昌史
- ・図版解説 四辻秀紀・並木昌史
- ・略年表 並木昌史
- ・英文リスト 並木昌史・志賀太郎

(2) 特別展「名物刀剣 -宝物の日本刀-」

- ・日本の伝統的美的価値「名物」と刀剣 佐藤豊三
- ・図版解説 〃

2. 金鯨叢書 第38輯

- (1) 「建中寺所蔵の二挺の女乗物-所用者の再検討と漆工史的位置-」 小池富雄
- (2) 「名古屋城西南隅櫓倒壊時期について」 井上光夫
- (3) 史料紹介「徳川家康書状 称津松鶴軒宛」について 原 史彦
- (4) 史料紹介「加藤清正書状 (文禄二年) 八月八日 下川又左衛門宛
-加藤光泰の朝鮮からの帰国と清正の鉄砲調達-」 中島雄彦
- (5) シンポジウム「初音の調度の秘密」報告

3. 尾陽 (第8号)

同 上

〔6〕徳川慶勝撮影写真資料の共同調査

徳川慶勝撮影の古写真に関する共同研究のため、徳川林政史研究所と相互の研究を深化させるべく努めた。

〔7〕 図 書

1. 図 書

『聚楽 東洋古建築・庭園・畫集』（第一期・第二期、座右寶刊行会）、『武家手鑑』（臨川書店）等、計393冊を購入。また、『東叡山寛永寺 徳川将軍家御裏方霊廟』（吉川弘文館）など計723冊の寄贈を受けた。

2. 雑 誌

『國華』、『美術史学研究』などの定期購読のほか計320冊を購入。また、『茶道の研究』、『美術研究』等、多数の寄贈を受けた。

〔8〕 館蔵品コンピューター入力

1. キャプション作成
2. 展示作品リスト（来館者用）作成
3. 調書入力
4. 写真データ入力

〔9〕 コンピューターのシステム化の促進

文化財管理システムを一新し、コンピュータシステムの効率化を図った。

〔10〕広報活動

1. 来館者誘致活動

(1) 団体に来館者の利用促進 (平成23年度実績 25,517名)

旅行会社への働きかけ (東京、近畿、北陸、東海地区の大手旅行社・バス会社への働きかけ)

(2) 個人来館者の利用促進 (平成23年度実績 178,698名)

①名古屋鉄道へのポスター・チラシによる広報宣伝協力要請

*企画展示「徳川の姫君」、秋季特別展「宮廷の雅 一有栖川宮家から高松宮家へ」、特別展「尾張徳川家の雛まつり」

②前売券の販売促進

*百貨店友の会 (4店舗)

他 プレチケ、チケットぴあ、ローソンチケット、東海4県生協で販売実績有り

③近隣地域・施設・組織との連携

*大曽根商店街との連携 (各店舗でひな人形の展示)

*瀬戸市観光協会との雛まつり展の相互PR連携

*フラワーマルシェとの相互PR・割引連携

*名古屋城との相互PR

*ランの館との共通券販売

*近隣レストラン、ショップでのポスター・チラシ設置

*名古屋港観光施設協議会主催イベントにPR用出店(3.25)

④地下鉄・名城線沿線施設との連携スタンプラリー実施 7.17~10.17

⑤日本将棋連盟当会普及連合会「対談 コンピューターになぜ負けたか」へ会場貸し、関係個人来館者誘致 160名

⑥賛助会・友の会

平成23年度は、賛助会会員のための企画展内覧会を例年通り随時開催した。友の会については平成24年2月に現会員(平成23年度)及び過去会員を中心に入会案内を送付した。

※会員状況（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

賛助会（家族会員35組中1組は1名増(12,600円増)の1口3名）

会員種類	会員数
個人会員	154件(155口)
家族会員	37件(37口)
法人会員	63件(63口)

友の会（一般会員387名中7名が半期入会(4,200円)の会員）

会員種類	会員数	内 訳	
		新規	継続
一般会員	387件(387口)	91件	296件
情報会員	38件(38口)	7件	31件

2. 大学メンバーシップの加盟校募集活動

平成23年度は名古屋工業大学が新たに加盟した。平成24年3月31日現在、加盟校は以下の通りである。

愛知大学	愛知学院大学	愛知県立大学	愛知工業大学	愛知産業大学
愛知淑徳大学	桜花学園大学	名古屋短期大学	金城学院大学	椋山女学園大学
中京大学	中部大学	東海学園大学	同朋大学	名古屋大学
名古屋学院大学	名古屋学芸大学・短期大学部		名古屋外国語大学	名古屋芸術大学
名古屋工業大学	名古屋市立大学	名古屋造形芸術大学・短期大学部		南山大学
名城大学	(計24校)			

3. 休館日及び閉館後等における時間外の利用誘致

(1) 夏期夜間延長開館

23. 8. 14～16

4. 刊行物・印刷物の作成・配布

(1) ポスター・パンフレット作成

(徳川美術館パンフレット、土曜子ども教室 ポスター・パンフレット、夏休み子ども特別企画 ポスター)

(2) 年賀状・招待券作成

(3) 優待券作成

(4) 美術館たより「葵」の作成

第78号 4月1日発行

エッセイ「文化・芸術に触れ、心を満たす」 宗次ホール代表 宗次徳二

第79号 7月 1日発行

エッセイ「成瀬家の女性達と私の生き方」 白帝文庫理事長 成瀬淳子

第80号 10月 1日発行

エッセイ「宮廷の雅展によせて」 学習院大学史料館 長佐古美奈子

第81号 1月 1日発行

エッセイ「尾張徳川家の名物刀剣一物吉貞宗」 佐野美術館館長 渡邊妙子

5. プレスレビュー・取材

	年月日	新聞	放送(ラジオ)
(1)徳川将軍と尾張の殿さま	23. 4. 8	2	1
(2)端午の節供 特別企画「親と子の甲冑教室」	5. 5	1	2
(3)新指定重要文化財西塔院勧学講法則	5. 20	4	1
(4)やきものの色とかたち	5. 27	1	1
(5)徳川の姫君	7. 29	1	1
(6)宮廷の雅・開会式	9. 23	1	1
(7)宮廷の雅・皇太子行啓	9. 26	6	5
(8)宮廷の雅・常陸宮殿下	10. 3	2	2
(9)国宝 源氏物語絵巻に挑む	11. 11	2	1
(10)名物刀剣	1. 4	5	3
(11)中日ドラゴンズ高木監督	1. 12	3	2
(12)尾張徳川家の雛まつり・ひな御膳	2. 11	4	1
(13)十二単着付教室	3. 3	1	0

6. 雑誌PR(掲載誌) 各企画展を2ヶ月前にPR。

- ・美術関係 芸術新潮 新美術新聞 ちいさな蕾 ほか
- ・婦人雑誌 和楽 家庭画報 婦人画報 ほか
- ・歴史関係 歴史研究 ほか
- ・その他 なごみ 茶道雑誌 ぴあ サライ ほか

7. 広告掲載

中日新聞社1件、朝日新聞社10件、日本経済新聞社2件、産経新聞1件、御園座パンフレット、キラッ都ナゴヤ、名古屋アートニュース、名古屋市交通局(地下鉄)、名鉄車内ポスター吊り広告、地下鉄構内ポスター掲示、

8. ボランティア業務の運営

(1) 登録者数 325名

(2) 展示解説

①平日の解説

②土・日・祝日の展示解説

③土曜子ども教室

④申し込み団体への解説

・概要解説 75件(延べ人数2,870名)

・体験講座(聞香・貝あわせ)－日本の伝統文化にふれる－ 43件(延べ人数1,026名)

(3) 行事

懇親会 24. 3. 10 150名

(4) 研修

①名古屋東照宮祭 23. 4. 17

②定光寺見学 5. 13

③名古屋市博物館見学 5. 25

④視覚障がい者対応研修 24. 3. 23

(5) その他の活動

①学芸部・企画情報部業務支援 1名

②特別専任ボランティア 7名

③講座等題字作成 1名

④館内生け花 1名

〔11〕管 理

平成23年度は以下のような建物・設備の営繕工事を行った。

- 空調自動制御設備更新
- 来館者用化粧室改装
- ファンコイルユニット16台更新工事
- 南側境界漆喰壁修繕
- 冷温水配管ヘッド清掃
- 講堂机・椅子取替
- ロビー・廊下照明のLEDへの取替
(当初予定の間接照明更新は翌年度以降に繰り越し)
- 本館・収蔵庫耐震一次診断(事業計画では予定していなかった)

事業計画で予定していた下記事業は翌年度以降に繰り越した。

- 講堂AV装置更新
- 新館床コンセント改修

〔12〕第20回徳川美術館運営懇話会

開催日 平成23年10月14日(金) 午後4時30分から5時00分

開催場所 徳川美術館 貴賓室

出席委員 中部経済連合会会長 三田敏雄氏、名古屋商工会議所会頭 高橋治朗氏、
名古屋鉄道相談役 木村操氏、三菱東京UFJ銀行顧問 佐々和夫氏、
公益財団法人徳川黎明会会長・徳川美術館館長 徳川義崇 (5名)

欠席委員 愛知県知事 大村秀章氏、名古屋市長 河村たかし氏、
トヨタ自動車最高顧問 豊田英二氏、中部電力社長 水野明久氏 (4名)

議事進行 議題1 委員交代

退任：前愛知県知事 神田真秋氏、前中部経済連合会会長 川口文夫氏、
前名古屋商工会議所会頭 岡田邦彦氏

新任：愛知県知事 大村秀章氏、名古屋商工会議所会頭 高橋治朗氏、
中部電力社長 水野明久氏・・・以上承認。

議題2 座長選任

新座長に三田氏が選任された。

議題3 徳川美術館の運営報告等

副館長が平成22年度の事業・収支状況・施設管理状況・館関係情報の
報告を行った。

〔13〕 秋季特別展「宮廷の雅－有栖川宮家から高松宮家へ－」 関連行事

1. 開会式

秋季特別展「宮廷の雅－有栖川宮家から高松宮家へ－」開会式が9月23日(金)午前9時より蓬左文庫
ガイダンスホールにて開催された。当館館長、名古屋市博物館館長岡田大氏、中日新聞社代表取締
役副会長 大島寅夫氏、中部日本放送代表取締役社長 大石幼一氏 のテープカットにより展覧会が開
幕した。

2. 皇族のご来館

皇太子殿下	23. 9. 26
常陸宮正仁親王殿下	10. 3
三笠宮彬子女王殿下	10. 10
高円宮妃久子殿下	10. 20

〔14〕 徳川園調整会議、企画・業務部会への参加

下記のように開催され、職員が適宜出席した。

1. 徳川園調整会議

開催日時 平成24年1月24日(火) 午前10時30分～11時30分

議 題 ・各施設の本年度実績と来年度計画
・徳川園80周年記念事業について

- ・文化財登録について
- ・来場者アンケート実施状況について
- ・防災対応について

2. 徳川園企画・業務部会

開催日時 平成23年12月9日（金）午後3時～4時

- 議 題
- ・各施設事業の実施状況
 - ・来年度の事業計画の概要
 - ・今後の共通課題
 - ・共催名義について
 - ・消防訓練について
 - ・広報なごやについて

〔15〕 「国宝重要文化財等保存整備費補助金」

平成20年度から平成23年度にわたり、文化財関係国庫補助事業として、重要文化財に指定されている徳川家康所用の辻ヶ花染小袖五領の修理を継続して行っている。このうち、平成22年度交付分として平成23年4月付けで国庫より、5月付けで愛知県より支給を受けた。

〔対象文化財名〕 重要文化財辻ヶ花染小袖 五領のうち二領
 （淡浅葱地葵紋付楓重文辻ヶ花小袖、 浅葱地葵紋付扇地紙文辻ヶ花染小袖）

なお、〔2〕文化財保存 1. 修理 に記載の平成23年度修理二領の補助金は年度替わりの平成24年度に入金のため、この分については次年度に報告する。

〔16〕 活動支援基金

平成23年3月24日に内閣総理大臣より徳川黎明会は「公益財団法人」としての認定を受け、平成23年4月1日より「公益財団法人」としての所得税法、法人税法の施行令に定められた寄附金の控除の適用を受け、寄附金の募集を実施した。

平成23年11月21日には 内閣府より「税額控除」に係る証明も受けたので、個人の寄附については、「所得控除」か「税額控除」のいずれか一方を選択適用することができるようになった。

1. 寄附金受付業務

寄附金額 23年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

12,600,000 円 法人 27 件（41.6口） 個人 258 件（844口）

参考

平成21年度 (21. 4. 1～22. 3. 31)	平成22年度 (22. 4. 1～23. 2. 8)	平成23年度 (23. 4. 1～24. 3. 31)
法人 19件 3,300,000円	法人 16件 3,710,000円	法人 27件 4,160,000円
個人305件 7,935,000円	個人188件10,780,000円	個人258件 8,440,000円
計 11,235,000円	計 14,490,000円	計 12,600,000円

2. 大口寄附者に対する感謝状の贈呈

(法人は10口以上、個人は30口以上) 敬称略

法人会員 安藤証券(株) 茶道宗徧流岡崎支部 (株)八百彦本店 高岳院 (財)坂文種報徳会

個人会員 加藤みゆき 安井博一 山川英彦 浅野勝義

3. 寄附金の使途

平成23年度は下記の通り使用した。

〔文化財保存事業〕

菊折枝蒔絵乗物 担棒	一本	修理
士林泝洄 三十五巻・六十八巻・百巻	三冊	修理
源氏物語貼込屏風 土佐光孚筆	六曲一双	購入
今城切 古今和歌集 奥書断簡	一枚	購入
徳川忠長書状 尾張大納言(徳川義直)宛	一通	購入
徳川頼宣書状 亜相(徳川義直)宛	一通	購入
徳川光貞書状 尾張中納言(徳川光友)宛	一通	購入
詩仙堂志 三橋成烈編・寛政九年序刊	一冊	購入

〔耐震対策事業〕

新館展示ケース飛散防止特殊シート貼付
第3展示室書院ケース内部造作・補強工事

[公 2]

林政史の調査研究事業（徳川林政史研究所）

[1] 調査・研究

1. 研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
①近世材木商の研究	所 長	竹内 誠 平成11年4月
②江戸の園地政策	副 所 長	深井雅海 // 18年4月
③江戸～明治期における林野行政と地域社会	主任研究員	太田尚宏 // 18年4月
④近世大名家における緑化政策の展開	研 究 員	白根孝胤 // 20年4月
⑤近代山村史の研究	特任研究員・筑波大学教授	加藤衛弘 // 20年4月
⑥近世における林政の展開と地域社会	非常勤研究員	田原 昇 // 23年4月
⑦近世における猟師と山村	//	栗原健一 // 23年4月
⑧秋田藩米代川流域における森林資源の管理・利用	//	芳賀和樹 // 23年4月

2. 科学研究費補助金による研究

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会から科学研究費補助金を受け、下記の研究を実施した。

①特定奨励費

交 付 機 関 文部科学省
研究事業名 近世・近代日本における林政史の調査研究・普及活動に関する事業
申 請 者 (公財)徳川黎明会徳川林政史研究所

②基盤研究 (A)

交 付 機 関 独立行政法人日本学術振興会
研究課題名 法令・人事から見た近世政策決定システムの研究
研究分担名 白根孝胤 (研究員)

③基盤研究 (B)

交 付 機 関 独立行政法人日本学術振興会
研究課題名 江戸藩邸作事における建設マネジメント手法に関する文理統合的研究
研究分担者名 渋谷葉子 (非常勤研究員)

④基盤研究 (C)
交付機関 独立行政法人日本学術振興会
研究課題名 丹鶴城旧蔵幕府史料の研究
研究分担者名 藤田英昭 (非常勤研究員)

⑤基盤研究 (C)
交付機関 独立行政法人日本学術振興会
研究課題名 丹鶴城旧蔵幕府史料の研究
研究分担者名 小宮山敏和 (非常勤研究員)

3. 史料調査

①自主事業による史料調査
八雲産業(株)八雲事業所所蔵史料調査 (受託事業) 第1回 H23. 7. 19～ 7. 22
" 第2回 H23. 10. 26～10. 29

②科学研究費補助金 (特定奨励費) 補助事業による史料調査
森林管理史アーカイブズ調査
秋田県公文書館所蔵史料調査 第1回 H23. 6. 12～ 6. 15
秋田県公文書館所蔵史料調査 第2回 H23. 11. 27～11. 28
岐阜県歴史資料館・飛騨高山まちの博物館所蔵史料調査 H24. 2. 20～ 2. 23
中部森林管理局所蔵史料調査 H24. 3. 5～ 3. 6

4. 研究会開催

- ① H23. 11. 7 於 徳川林政史研究所
飛騨山の官民有区分に関する一考察－木曾山官民有区分との比較から－ 田原 昇
- ② H23. 11. 14 於 徳川林政史研究所
近世山村の獵師と村方騒動－武蔵国秩父郡大野村を事例に－ 栗原健一
秋田藩能代木山における文化期林政改革－「介川東馬日記」を中心に－ 芳賀和樹

[2] 若手研究者の育成

1. 研究会開催

- ① 第1回
H23. 8. 5 於 豊島区勤労福祉会館 第5・6会議室
佐倉藩役人の職能と在地支配について 高木謙一
『浅草寺日記』に見る絵馬 中村洋子
広重の江戸名所絵とその製作背景 根岸美季

飛驒高山の山役人 富田礼彦の生涯	高橋伸拓
享和元年羽州村山一揆の再検討	坂本達彦
土地売買と村社会	宮原一郎
草莽と維新—多摩地域を中心に—	藤田英昭
明治十年前後の法律学習結社—法律学舎と講法学社を中心に—	長沼秀明

② 第2回

H24. 3. 9 於 豊島区勤労福祉会館 第7会議室

「よしの冊子」写本の伝達と慶応大学所蔵幸田文庫「雑記」について	橋本佐保
交代寄合東高木家の江戸屋敷書上	松本剣志郎
慶喜期の将軍「御印判」製作関連史料の紹介	西 光三
町奉行所の「南旗」「玄旗」について	滝口正哉
昭和戦後期に建立された筆子塚について	石山秀和
武家地の諸相—巢鴨の場合—	渋谷葉子

[3] 編集・刊行

1. 「研究紀要」第45号 寄贈・頒布業務

印刷部数 750部 内、寄贈・交換 529冊 頒布 53冊

2. 「研究紀要」第46号 編集・刊行

①伊勢遷宮用材の伐木・運材事業と山方村々（下）	太田尚宏
②尾張藩における美濃・木曾産物の利用と領民	白根孝胤
③文化期における秋田藩能代木山の林政改革への着手	芳賀和樹
④飛驒山における官民有区分の様相	田原 昇
⑤幕領・飛驒国民家普請における「家作木」の規制について	中村琢巳
⑥近世山村の猟師と村方騒動	栗原健一
⑦検地帳に基づく壬申地券の発行とその役割	加藤衛弘

[4] 史料の収集整理

1. 所蔵史料の整理・データベース作成

- ① 尾張徳川家文書（尾5）の再整理を継続し、目録カード作成およびデータ入力を行った（平成23年度は304点整理・入力済み、見積総数735点のうち計304点完了）。
- ② 尾張徳川家文書の合綴史料を整理し、目録カードを作成した（平成23年度は1,033点整理・入力済み、見積総数2,000点のうち計1,033点完了）。
- ③ 石河家文書の目録カードを作成し、データ入力を行った（平成23年度は320点整理・入力済み、見積総数10,250点のうち計4,882点完了）。
- ④ 蜂須賀家文書の目録細目カード作成およびデータ入力を行い、完了した（平成23年度は250点整理・入力済み、史料総数854点すべての入力完了）。
- ⑤ 「竹熊手」の目録カードを作成し、データ入力を行った（平成23年度は141点整理・入力済み、見積総数420点のうち計141点完了）。
- ⑥ 尾張国地域別史料のうち、「尾張国名古屋笹屋町 井桁屋文書」「尾張国熱田 千秋家文書」「尾張国熱田 中瀬町文書」「尾張国熱田 白鳥町文書」「尾張国熱田史料」「尾張国愛知郡鳴海村 下郷家文書」「尾張国愛知郡 山崎村文書」「尾張国愛知郡 日置村文書」のデータ入力を行った（平成23年度は375点整理・入力済み、史料総数375点すべての入力完了）。

※ 見積総数：各史料群の点数は整理開始時の概算によるものであり、今後の史料整理により新たに史料が確認されて点数が増加する見込みであるため、整理中のものについては現時点で「見積総数」と表記している。

2. 研究用史料の写真撮影

原史料の保全および研究のため、以下の史料群に関する写真撮影を実施した。

- ① 所蔵史料（林111「木曾古書類」他 モノ 3,778コマ、「群虫真景」他 カラー39カット他）
- ② 秋田県公文書館所蔵史料（デジタルデータ5,420コマ）
- ③ 岐阜県歴史資料館所蔵史料（デジタルデータ2,050コマ）

3. 所蔵史料のデジタルデータ化

研究の便を図ると共に、今後の情報公開などに活用するため所蔵史料のデジタルデータ化を行った。

- ① ガラス板古写真のデジタルデータ化(6点6カット)
- ② 古文書のデジタルデータ化
 - ・外部委託によるデジタルデータ化(「木曾古書類」他 3,778コマ)
 - ・デジタルマイクロリーダープリンター導入による自館でのデジタルデータ化(「三御殿日記」他6,128コマ)
- ③ 村絵図のデジタルデータ化(259カット)

[5] 所蔵史料の目録刊行

1. 尾張徳川家文書目録(八) を研究紀要第46号に収録刊行した。
2. 石河家文書目録(七) を研究紀要第46号に収録刊行した。

[6] 教育・普及

1. 徳川林政史研究所公開講座

徳川林政史研究所・豊島区教育委員会共催

(内 容)	(年 月 日)	(講 師)	(参加者数)
① 江戸の環境整備に尽力した将軍吉宗	H23. 10. 6	竹内 誠	111名
② 御側御用取次の新設とその役割	10. 13	深井雅海	105名
③ 徳川宗春の登場と将軍吉宗	10. 20	白根孝胤	98名
④ 松下専助—知られざる吉宗の懐刀—	10. 27	太田尚宏	102名

2. 徳川美術館主催「徳川林政史研究所 古文書入門講座」に講師として参加した。

(内 容)	(年 月 日)	(講 師)
① 江戸城請取の顛末	H23. 6. 18	深井雅海
② 旧幕臣の駿河移住	6. 25	藤田英昭
③ 徳川慶勝が見た宮中社会(1)	7. 2	白根孝胤
④ " (2)	7. 9	"
⑤ 森林をめぐる明治維新—官林から御林へ—	7. 16	太田尚宏
⑥ 勤王誘引書類を読む	7. 23	"

3. 徳川林政史研究所公開講座「史料にみる江戸時代の森林」

徳川林政史研究所・秋田県公文書館共催

H23. 11. 26 於 秋田県公文書館(秋田県秋田市)
参加者75名

① 図像・映像に見る江戸時代の伐木・運材	太田尚宏
② 秋田藩林政と森林資源の保続	脇野 博
③ 秋田藩における銅山用山林の経営計画	芳賀和樹
④ 質疑・討論	司会 田原 昇

4. 公開講座の成果刊行

平成20年度に実施した第10回「徳川林政史研究所公開講座」の成果をまとめた徳川林政史研究所監修『江戸時代の古文書を読むー徳川の明治維新ー』（東京堂出版）を刊行した。

5. 書籍の刊行

近世・近代の林政史についてわかりやすく解説した一般向きの書籍として「徳川の歴史再発見 森林の江戸学」（東京堂出版）を刊行した。

6. 講演・講座

演 目	主 催 者 等	年月日	担 当
伝統文化としての大相撲	早稲田大学永楽倶楽部	H23. 4. 22	竹内 誠
江戸の魅力を語る	東京シティガイドクラブ	5. 22	〃
江戸庶民の暮らしと文化	近茶流教授研修会	6. 25	〃
江戸っ子の生態	同友クラブ	7. 5	〃
江戸文化と横浜開港	横浜開港資料館開館30周年記念	7. 9	〃
江戸の「こころ」を語る	東京商工会議所ビジネス交流プラザ	7. 19	〃
江戸の歴史研究の楽しさ	江戸の歴史研究会創立20周年記念	7. 23	〃
「用心棒日月抄」と 江戸・元禄の魅力	鶴岡市藤沢周平記念館開館1周年記念	7. 30	〃
江戸庶民の暮らしと文化	埼玉県商工会議所合同トップセミナー	9. 6	〃
『江戸から東京へ』 の意義と活用	東京都教育庁主催指導主事研修会	11. 9	〃
これからの持続可能な社会と 生活	第50回全国中学校技術家庭科研究大会	11. 10	〃
江戸のくらしに学ぶ	内外情勢調査会倉敷支部	11. 22	〃
博物館経営と館長の職務	文部科学省主催博物館長研修会	12. 8	〃
江戸の情報収集と外部評価	東京都特別区監査委員協議会	H24. 1. 19	〃
江戸から東京へ ー生活文化の変容ー	日比谷図書文化館	2. 18	〃
江戸の金融政策を語る	日本銀行旧友会	3. 8	〃
桜田門外の変と御庭番	神奈川県土曜古文書会	H23. 8. 27	深井雅海
「行動」と「消費」の江戸文化	千早地域文化創造館	H23. 9. 6	太田尚宏
庶民の反乱と政権交代	千早地域文化創造館	9. 13	〃
江戸の青物・土物と近郊農村	板橋区公文書館	H23. 9. 25	〃
尾張家をめぐる武家の世界 ー藩祖義直・二代光友の人脈 を探るー	八雲町民公開講座・八雲町教育委員会マ イプラン学習講座	H23. 10. 28	白根孝胤

7. 教育機関等への協力

通常の史料閲覧業務の他、下記の調査・見学に協力した。

- ① 学習院大学「博物館実習」クラス（学芸員資格取得課程）の学外授業として、担当教師の付き添いのもと学生10名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。 H23. 6. 9
- ② 林野庁森林技術総合研修所養成研修専攻科の研修として、引率教官5名・研修生8名が来所。林政史研究所の概要及び江戸時代の林政史について説明を行った。 H24. 3. 26

8. 案内パンフレットの作成

- ① 閲覧者向け案内パンフレット(A4判二つ折り)平成23年度版を作成した。

9. ホームページの作成・公開

徳川林政史研究所ホームページを更新し、研究紀要掲載論文や史料目録の閲覧機能を強化して、利用者の便宜を図った。

10. 部外出講

- | | | | |
|----------|--------|----|------|
| ① 昭和女子大学 | 日本近世史 | 通年 | 太田尚宏 |
| ② 聖心女子大学 | 日本文化史Ⅱ | 後期 | 白根孝胤 |

[7] 徳川美術館との連携

1. 展覧会への史料出陳

展覧会名称	会 期	出陳史料名
「徳川将軍と尾張の殿さま」展	H23. 4. 9 ~ 5. 22	「享保尾事」 「諸品新聞書」
「徳川の姫君」展	H23. 7. 30 ~ 9. 19	「神君ヨリ崇源院様へ御文ノ写」

2. 徳川慶勝撮影の古写真に関する共同研究

徳川美術館学芸員と密接に連絡をとり合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

[10] 補助金関係

平成23年度は以下のように科学研究費補助金及び科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)の交付を受け、申請・報告事務と経費管理事務を行った。

1. 科学研究費補助金

- ①特定奨励費 申請者 (公財)徳川黎明会徳川林政史研究所
研究事業名 近世・近代日本における林政史の調査研究・普及活動に関する事業
交付機関 文部科学省
- ②基盤研究B 研究分担者 渋谷葉子
研究課題名 江戸藩邸作事における建設マネジメント手法に関する文理総合的研究
交付機関 独立行政法人日本学術振興会
- ③基盤研究C 研究分担者 藤田英昭
研究課題名 丹鶴城旧蔵幕府史料の研究
交付機関 独立行政法人日本学術振興会
- ④基盤研究C 研究分担者 小宮山敏和
研究課題名 丹鶴城旧蔵幕府史料の研究
交付機関 独立行政法人日本学術振興会
- ⑤基盤研究A 研究分担者 白根孝胤
研究課題名 法令・人事から見た近世政策決定システムの研究
交付機関 独立行政法人日本学術振興会

2. 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)

- ①若手研究B 研究代表者 龍澤 彩 (公財)徳川黎明会徳川美術館)
研究課題名 中近世移行期における絵巻・絵入り本の製作と
大名家を中心とする受容
交付機関 独立行政法人日本学術振興会

[11] 事業評価委員会

平成24年3月14日、外部委員による事業評価委員会が開催され、林政史研究所の平成23年度事業について評価・講評を受けた。

[12] 徳川記念財団への協力

本研究所では受託史料として、徳川宗家（旧将軍家）に伝来した史料 約5130点を保管しており、これら伝来品の活用を図る目的で設立された徳川記念財団が調査・展示などで保管史料を利用する際には、史料出納をはじめ、調査への助言、閲覧室・写真撮影場所の提供、貸し出しの立ち会い等の協力を行っている。

平成23年度は徳川記念財団が実施した展示事業と閲覧2件について協力した。

史料名（徳川記念財団所蔵）	期間	目的
「於日光山御宮御霊屋江被成候節本坊内御供立場開場絵図」 他 55件122点	H23. 7. 29 ～ H24. 1. 30	展示及 閲覧対応
「文章達徳綱領6巻」他 4件41点	H24. 2. 20. ～ 継続中	閲覧対応

[13] 設備管理

建物付属設備の営繕工事を以下のように行った。

1. 本部建物内空調機熱交換機洗浄剤及び冷却塔水漏修理

[14] 資産の取得

1. 備品 ノートパソコン Panasonic Letsnote CF-S10EYPDR 1台（特定奨励費）

Ⅲ. 収益事業

[収 1]

不動産賃貸事業（本部・総務部）

1. 外国人向け住宅6棟の賃貸を行った。
2. 平成23年度は賃貸住宅工事等により以下の固定資産を取得した。
 - (1) 構築物 1件
 - (2) 什器備品 2件

[収 2]

ミュージアムショップの運営事業等(徳川美術館)

1. ミュージアムショップの運営充実
 - (1) 各展覧会に則した商品陳列等、ショップ内のディスプレイを企画・工夫した。
 - (2) ホームページに商品を掲載し、ミュージアムグッズのPRをした。
 - (3) 新商品の開発を行った。（ピンバッチ、クリアファイル、マーキングクリップ）
 - (4) 中部武将館（セントレア）、市内ホテルなど、外部での販売を促進した。